

理工学 メディアセンター ニュース



Media Center for
Science and Technology
Newsletter

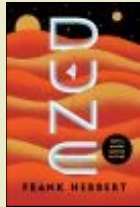
私の一冊

電気情報工学科

津田裕之先生

『DUNE』

Herbert, Frank著
(New York : Ace)



配架場所：創想ライブラリー

「DUNE」(Frank Herbert著、1965年初版)を私の薦める一冊としたい。中学生のとき、叔父から「デューン砂の惑星」(ハヤカワ文庫、矢野徹訳)を買って、この作品に接した。現在、この旧訳の文庫本は手に入らないが、石森章太郎(当時)が魅力的な挿絵を描いている。本書では、首尾一貫した緻密な世界が構築され、主人公のPaulが成長して皇帝の座に就くまでが述べられている。読む度に新たな発見があり、飽きることがない作品である。その後、「DUNE」を英文で読み直すと、著者の構築した広大な世界を一層鮮明に体験することができた。砂の惑星の秘密が明かされる3編目までまとめて読むことを薦めたい。

Contents

第21回サイエンスカフェ p.1

秋は英語で論文執筆！
オンラインセミナー案内 p.1

その質問〇〇デスクまで
お尋ねください p.2

守れていますか？
館内でのマナー・ルール p.2

イベント

第21回サイエンスカフェ

健康をデザインする生活空間

2022年秋のサイエンスカフェは、「健康をデザインする生活空間」と題して、システムデザイン工学科の小川愛実先生にご講演いただきます。生活に直結する研究の面白さを知る絶好の機会です。是非ご参加ください。

【講師】小川 愛実 先生(システムデザイン工学科)

お申込みはこちら↓

【日時】2022年11月11日(金) 18:15-19:30

【会場/配信】理工学メディアセンター創想館1階(20名程度)
オンライン配信(Zoom・人数制限なし)

【対象】塾生・教職員 (要keio.jp)



【小川先生からの講演案内】

皆さんは知らず知らずのうちに周りに広がる生活空間に少なからず影響を受けています。例えば、ほんの少し机や椅子の高さが変化しただけで肩が凝ってしまったり、或いは姿勢が良くなって腰痛が改善されたり…

このような日常生活と生活空間の密接な関係を調査・解明し、モデル化することで、適切な生活空間のデザインを実現し、人々の健康で快適な毎日を支援する試みについてご紹介します。



【お詫びと訂正】 No.241 P.1に掲載の「第2回プレゼンバトル プレゼンター募集中！」におきまして誤りがありました。お詫びして訂正いたします。4行目：(正) 塾生や職員 (誤) 塾生や教職員

セミナー

秋は英語で論文執筆！オンラインセミナー案内

メディアセンターでは秋学期もZoomウェビナーを使用して、皆さんの研究に役立つセミナーを開催します。今年は英語論文執筆・投稿に関するセミナー3本立てです。ぜひご参加ください！

*参加には事前登録が必要です。慶應義塾大学の所属者は、学部を問わずどなたでも参加できます。詳細は以下をご確認のうえ、事前登録をお願いします。

▼ 英語論文投稿と戦略セミナー 2022年11月2日(水) 15:00-17:00

パート1：15:00-16:20 パート2：16:30-17:00

世界最大の学術出版社であるエルゼビア社の日本法人より講師をお招きし、出版社の立場から論文執筆に役立つ知識や考え方を解説していただきます。論文のオープンアクセス化費用(APC)の割引についての案内もあります。



▼ 科学英語論文の書き方セミナー

基礎編 11月16日(水) 15:00-16:40

応用編 11月30日(水) 15:00-16:40



事前登録は
こちらから



今年も、科学英語論文執筆について多くの著作をお持ちの小野義正氏(元理化学研究所創発物性科学研究センター)を講師に迎え、英語の発想法や英語論文執筆の具体的な手順についてレクチャーしていただきます。

初めて英語論文を作成する方におすすめです。今年は基礎編・応用編の2本立てです。昨年受講された方もぜひご参加ください。

今月の一枚:ブックポスト



メディアセンター入口の脇で銀色に輝く大きな箱、あれが何かご存知でしょうか。毎朝の通路の景色と化して、そもそも存在に気付いていない方も多かもしれません。普段は後ろ姿しか見せず、閉館時刻を過ぎるとこの写真の姿に。メディアセンターの閉館後や休館日に資料の返却を受け付けるブックポストです。

「今日返却日だったけど、メディアセンターの閉館時刻過ぎてる。どうしよう」、「明日からインターンで今日中に資料を返却したいけど返せない」、そんなときはこちらのブックポストに資料をご返却ください。創想館地下自習室にも同じブックポストがあるので、夜間開室時間中の返却もできます。ただし、延滞資料や壊れやすい資料はブックポストには入れず、カウンターでの返却をお願いします。

メディアセンター豆知識

製本雑誌

「製本雑誌」と言われてもピンと来ないかもしれませんが、メディアセンターでは、雑誌が一定の冊数になったら、ハードカバー形式の一冊の本のようにまとめ、散逸しないように、またきれいな状態を維持できるようにしています。春と秋に専門の業者に引き渡して作業を行うため、その間は貸出が出来ませんが、製本作業が完了したら通常の雑誌と同様1週間貸出が可能です。借りたい雑誌の巻号が所蔵されているはずなのに書架に無い場合は、カウンターにご相談ください。もしかしたら、雑誌が新たな姿になるための準備をしている最中かもしれません。



学習支援 相談しよう、そうしよう！

その質問、〇〇デスクまでお尋ねください



本館1階に入ってすぐ見える図書館のサポートデスクでは、各種質問を受け付けています。学習についての相談、文献の調べ方・探し方、館内のパソコン・プリンターの使い方などなど、各デスクの担当スタッフが応じますので、どうぞお気軽にお尋ねください！

①ラーニングサポートデスク：学習について質問する

□対応時間：学期期間中 平日12:30-15:30
* 2022年度秋学期は10/3(月)より再開予定

向かって左端のデスクでは理工学研究科の院生スタッフが自身の経験をもとに、レポートの書き方や試験勉強の方法など、学習や研究に関する質問・相談に応じます。



曜日ごとの担当スタッフや、得意分野についてはこちら

②レファレンスデスク：調べ方・探し方・使い方について質問する

□対応時間：平日 8:45-17:00 *スタッフが不在の場合は、ベルを鳴らしてください。

デスク中央では、お探しの文献の入手方法・館内資料の配置場所や、文献データベース・文献管理ツールの使い方について図書館スタッフがご案内します。また各種セミナーについてもお問い合わせを受け付けています。

オンラインでも受付中
質問のすゝめ！



③ITCヘルプデスク：館内PCやネットワークについて質問する

□対応時間：学期期間中 平日12:45-16:15

右端のデスクでは、館内パソコンやプリンターの使い方、ITCの無線LAN/Wi-Fi接続について、理工学ITCのTAスタッフが対応します。

注意 守れていますか？

館内でのマナー・ルール

近頃、マスクを外して館内を歩いたり、おしゃべりをする方が散見されるようになりました。保健管理センターによる感染症についての注意事項にも記載のとおり、メディアセンター利用時も含め、**登校時はマスクを着用し**、こまめな手洗いや手指の消毒を行ってください。

また、館内への飲み物の持ち込みは、水筒やペットボトルなど蓋が密閉できるものに限りです。ストロー付の紙パック飲料や、蓋付であってもテイクアウトカップ容器は、倒れるとこぼれる可能性がありますので持ち込み禁止です。メディアセンター本館1・2階は近年カーペットを張り替えたばかりなのですが、残念ながら飲み物をこぼした跡が目立つようになってきてしまいました。そして、飴やガム、グミ等のお菓子も含め「食べること」は厳禁です。わずかな食べカスからカビが発生し、害虫を呼び寄せ、資料の汚損や破損につながる可能性があるからです。

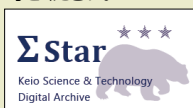
利用者の皆さんが安心して快適に利用できるよう、ご協力をお願いいたします。



理工学メディアセンター機関リポジトリ

ΣStar(シグマスター)

ΣStarでは理工学部の研究・教育成果のうち、電子化され、著作権の許諾が得られたものを公開しています。学位論文・プレプリント・リサーチレポート・その他教材など、登録のご相談は理工学メディアセンターまでお寄せください。



発行

慶應義塾大学理工学メディアセンター

〒223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1

TEL: 045-566-1477

E-mail: rmc-info-group@keio.jp

URL: https://www.lib.keio.ac.jp/scitech/

電子版はWebサイト「理工学メディアセンターについて」メニューにある「刊行物・統計」よりご利用ください。

Twitter

